

4. 近畿地域の産業立地促進及び大阪湾ベイエリアの国際競争力向上に向けた課題と方策について

(1) ベイエリアを核とした近畿地域の産業競争力を高める上で、重要な課題は何か。(3つまで○)

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1 新たな産業用地の創出         | 7 人材の育成・確保              |
| 2 土地の流動化と秩序ある土地利用の誘導 | 8 広域的な防災機能の強化           |
| 3 産業誘致のためのインセンティブ強化  | 9 低炭素社会に貢献する新しい産業モデルの創出 |
| 4 物流コストの削減           | 10 規制緩和(具体的に: )         |
| 5 物流時間の短縮・削減         | 11 その他(具体的に: )          |
| 6 通勤利便性の向上           |                         |

(2) ベイエリアを核とした近畿地域の産業競争力を高める上で重要なインフラは何か。(3つまで○)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 高規格の道路ネットワーク | 8 大学・試験研究機関の充実      |
| 2 一般道路・臨港道路の充実 | 9 環境・エネルギー供給        |
| 3 港湾機能の強化      | 10 廃棄物処理            |
| 4 國際空港の機能強化    | 11 防災インフラ           |
| 5 公共交通機関の充実    | 12 ソフトインフラ(法規制、条例等) |
| 6 大規模産業用地の整備   | →(具体的に: )           |
| 7 物流施設の充実      | 13 その他(具体的に: )      |

(3) ベイエリアを核とした近畿地域の国際物流の競争力を強化していく上で、重要な課題は何か。(3つまで○)

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1 高規格コンテナターミナルの整備     | 7 阪神港と関西空港とを結ぶ高規格道路の整備   |
| 2 関西空港の深夜便の充実         | 8 大阪湾の諸港が一体となった効率的な港湾経営  |
| 3 臨海部物流拠点の形成          | 9 コンテナターミナルの夜間早朝利用の推進    |
| 4 濑戸内海諸港との内航ネットワークの充実 | 10 海運・鉄道を活用した環境物流システムの構築 |
| 5 舞鶴港等、日本海側諸港の活用      | 11 輸送の一貫性を高めたシームレス物流の実施  |
| 6 背後圏との道路ネットワークの充実    | 12 その他( )                |

5. 複数の港湾が一体となった効率的な港湾経営(広域連携)についてお尋ねします。

(1) 自社に物流のルート設計や、物流企画を行う担当者をお持ちですか。(1つに○)

- |                   |                                      |
|-------------------|--------------------------------------|
| 1 自社に物流の企画担当者がいる  | 【 <b>一質問5(2)へお進み下さい。</b> 】           |
| 2 自社に物流の企画担当者がいない | 【 <b>一質問はこれで終わりです。ありがとうございました。</b> 】 |

(2) 港湾の広域連携を進めることについて、どのようなことを期待されますか。(3つまで○)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 入港料の低減等により港湾サービスが向上する            |
| 2 港湾管理者の窓口が統一されるため業務が効率化される        |
| 3 港湾管理者からの情報提供が一元化され業務が効率化される      |
| 4 港湾間の連携や機能分担が進むことで港湾の稼働率が上がる      |
| 5 スケールメリットが働くことで物流コストが下がる          |
| 6 緊急時や災害時のバックアップ機能が高まることでサービスが安定する |
| 7 その他(具体的に: )                      |

(3) 港湾の広域的な情報提供について

①複数港湾が広域的に情報提供することについて、どのようなことを期待されますか。(3つまで○)

- |                              |
|------------------------------|
| 1 荷主として良い条件を選びやすくなる          |
| 2 港湾間の競争が働くことでサービスが高まる       |
| 3 複数の貨物の動向をリアルタイムで把握することができる |
| 4 複数の船舶情報をリアルタイムで把握することができる  |
| 5 その他(具体的に: )                |

(2)港湾物流関係で必要な情報にはどのようなものがありますか。(いくつでも○)

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 1 コンテナターミナル等の港湾施設の状況 | 7 海上コンテナトラックの位置情報         |
| 2 航路、寄航数等の情報         | 8 ターミナルゲート・近隣道路等の渋滞情報     |
| 3 船舶の位置情報            | 9 貨物トレーシング（現在位置及び履歴）情報    |
| 4 船舶の入出港、離着岸情報       | 10 輸出CY締切日等の情報            |
| 5 CYからの搬出可否等の情報      | 11 コンテナターミナルの事業者・荷役に関する情報 |
| 6 入港・荷役スケジュールの遅延情報   | 12 その他（具体的に：）             |

(3)「(2)」において、「4 船舶の入出港、離着岸情報」を選択した方にお聞きします。船舶の入出港、離着岸情報について、具体的にどのような情報を知りたいですか。(いくつでも○) また、その理由も教えてください。

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 日本近海における船舶の現在位置情報 | 5 海外港の入出港、離着岸予定情報    |
| 2 海外における船舶の現在位置情報   | 6 海外港の入出港、離着岸確定情報    |
| 3 国内港への入出港、離着岸予定情報  | 7 日本国領海に入ったという情報     |
| 4 国内港への入出港、離着岸確定情報  | 8 その他（具体的に：）<br>(理由) |

(4)「(2)」において、「5 CYからの搬出可否等の情報」を選択した方にお聞きします。具体的にどのような情報を知りたいですか。(いくつでも○) また、その理由も教えてください。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1 通関状況          | 4 フリータイム残日数          |
| 2 D/O（荷渡し指示）の状況 | 5 その他（具体的に：）<br>(理由) |
| 3 保税エリアへの搬入状況   |                      |

(5)「(2)」において、「8 ターミナルゲート・近隣道路等の渋滞情報」を選択した方にお聞きします。ターミナルゲート・近隣道路等の渋滞情報について、具体的にどのような情報を知りたいですか。(いくつでも○) また、その理由も教えてください。あわせて、渋滞の状況を把握したい具体的な箇所があれば教えてください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 ターミナルゲート前の混雑状況 | 3 空港バーンゲート前の混雑状況     |
| 2 臨海部の主要道路の混雑状況  | 4 その他（具体的に：）<br>(理由) |
| (具体的な箇所)         |                      |

(6)「(2)」において、「9 貨物トレーシング（現在位置及び履歴）情報」を選択した方にお聞きします。輸出と輸入のどちらについて貨物トレーシング情報の入手を希望しますか。(1つに○) また、その理由も教えてください。

- |      |         |
|------|---------|
| 1 輸出 | 3 輸出入両方 |
| 2 輸入 |         |
| (理由) |         |

(7)「(2)」において、選択されたもののうち複数の港湾が広域的に情報提供することを希望するものがありますか。(3つまで番号をお書き下さい)

1位：      2位：      3位：

ありがとうございました。  
平成21年2月19日(木)までに同封の返信用封筒にてご返送下さい

# 各モデル地区の検討結果報告

## 各モデル地区の検討概要

大阪湾ベイエリアを臨む各モデル地区を対象に、企業ニーズや地域特性などを踏まえつつ、活性化に向けた方策の具体的検討を行った。今後、各モデル地区を核として、大阪湾ベイエリア全体の成長・環境の連鎖に向けた取り組みの推進が期待される。

### I. ベイエリアにおける新しい産業連関構造の形成〔神戸市〕

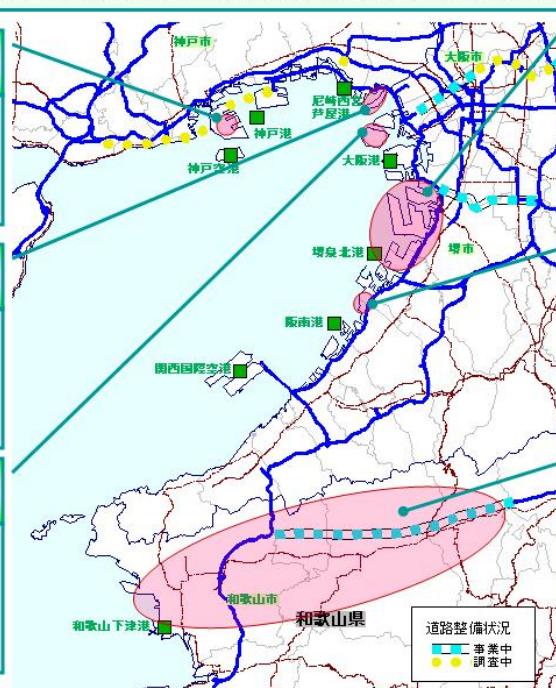
PI2期埋立地の現在の利活用状況及び諸課題を整理し、今後の利活用方針を踏まえて、効果的な産業連関構造の形成に向けた検討を実施。

### II. フェニックス処分場の利用〔兵庫県〕

埋立用地の早期土地利用開始に向けた取組についてフェニックス早期土地利用検討協議会（兵庫県、尼崎市、大阪湾広域臨海環境整備センター、尼崎商工会議所）で検討を実施。

### III. 関西経済を牽引する物流拠点・産業エリアの形成〔大阪市〕

夢洲の特定コンテナ埠頭に近接するエリアにおける、物流機能、産業の集積地としての方向性と具体策の検討。港湾と鉄道・道路が連携したシームレス化・物流の円滑化。



### IV. 低炭素型の新しい臨海拠点の形成〔堺市〕

堺市臨海部において、企業間連携の強化による低炭素型コンビナートへの転換など、「環境との共生」をテーマに、将来的な施策・インフラ整備の方向性などを検討。

### V. 大阪木材コンビナートの遊休地（公有水面）活用による活性化〔大阪府〕

大阪木材コンビナートにおける、遊休地（公有水面）活用の方向性と活性化の検討。活用の方向性については、将来的なニーズを踏まえた検討を実施。

### VI. 内陸産業拠点と臨海地域との連携〔和歌山県〕

和歌山県内陸産業拠点における企業立地の促進や物流ニーズへの対応を進めていくため、内陸部と臨海地域（閑空、港湾等）を結ぶネットワーク強化などの方策を検討。

## I-1 ベイエリアにおける新しい産業連関構造の形成\_P1二期埋立地

### [新しい産業連関構造の形成に向けた方向性(現況)]

#### <必要性>

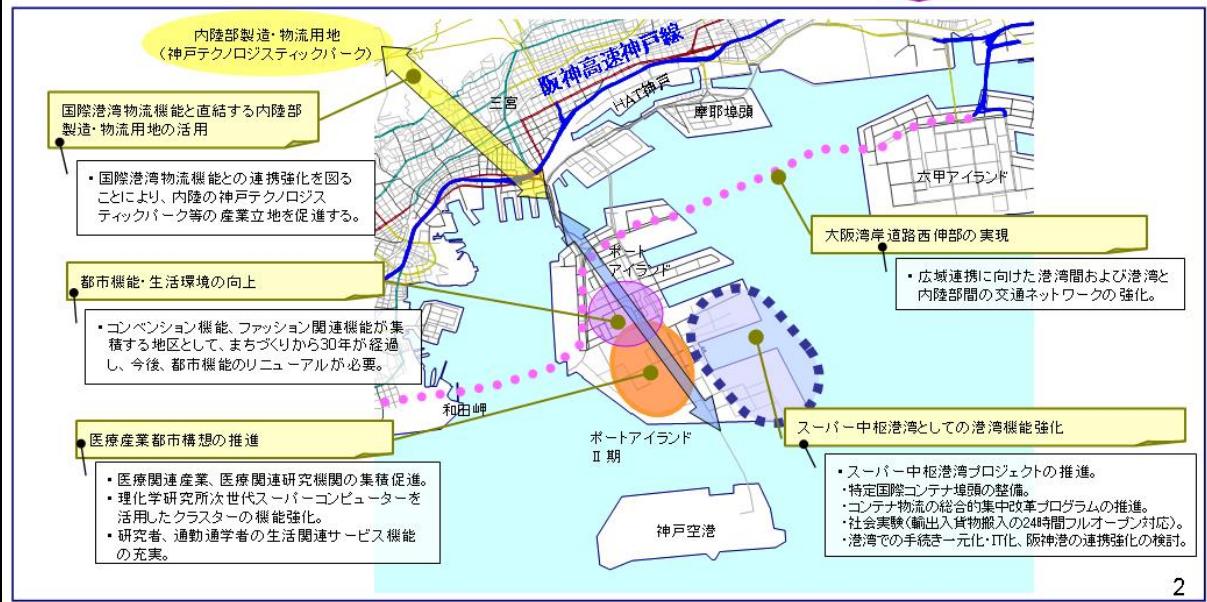
大阪湾ベイエリアの競争力を高めるため、ベイエリア臨海部における新産業集積促進とスーパー中枢港湾としての港湾機能の強化が必要

#### <現在の状況>

医療産業都市構想、スーパー中枢港湾プロジェクト等の取組を展開中

#### <今後の方向性～現在の取組を加速し、発信、連携へ～>

- ・医療産業都市構想の推進
- ・スーパー中枢港湾・神戸港の機能の強化
- ・産業集積促進、港湾機能強化に資する交通インフラの早期整備 等



2

## I-2 ベイエリアにおける新しい産業連関構造の形成\_P1二期埋立地

### [新しい産業連関構造の形成に向けた方向性(短中期)]

#### <必要性>

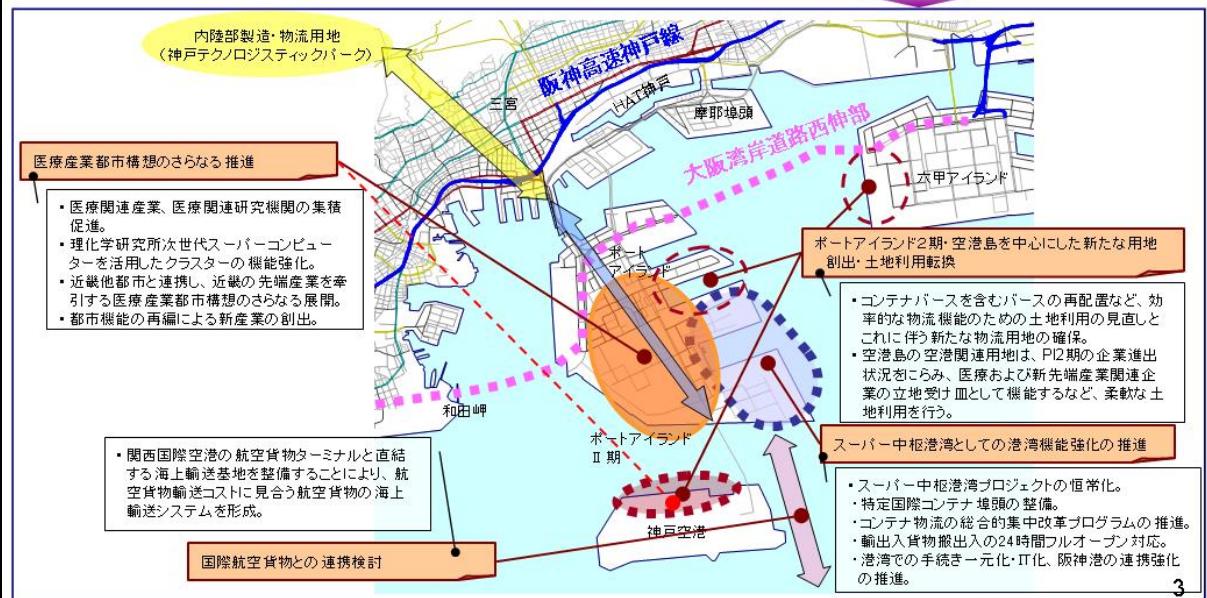
大阪湾ベイエリアの競争力を高めるため、ベイエリア臨海部における新産業集積促進とスーパー中枢港湾としての港湾機能の強化が必要

#### <現在の状況>

医療産業都市構想、スーパー中枢港湾プロジェクト等の取組を展開中 製造・物流用地の不足が深刻化

#### <今後の方向性～さらなるコンバージェンス(融合)の強化・促進～>

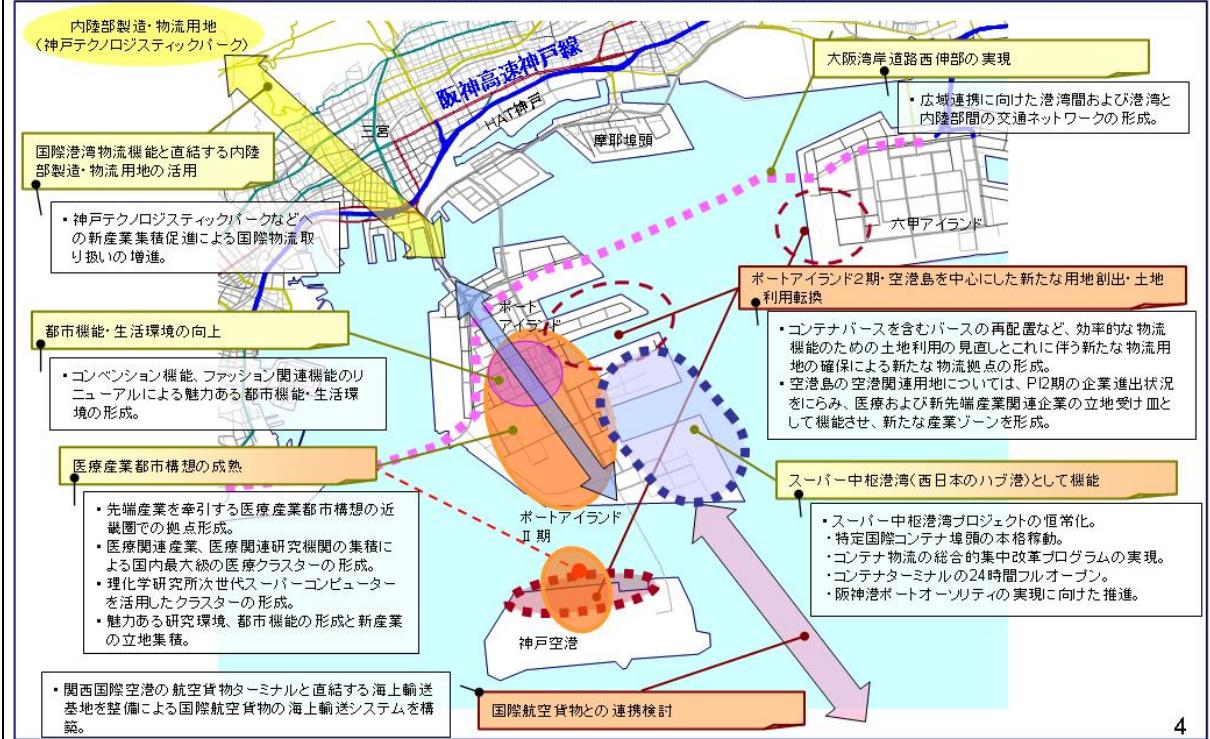
- ・近畿他都市と連携し、近畿の先端産業を牽引する医療産業都市構想のさらなる推進
- ・スーパー中枢港湾・阪神港の機能の強化、国際航空貨物との連携検討
- ・新たな産業・物流用地の創出 等



3

## I-3 ベイエリアにおける新しい産業連関構造の形成\_PI二期埋立地

### [新しい産業連関構造の形成(最終的な姿)]



4

## II-1 フェニックス用地の利用\_貴重な大規模産業用地の活用

### [段階的整備による早期土地利用／管理型区画の土地利用(中期的)]

#### <取組みの背景>

- 尼崎市内の住工混在地区の環境改善を図るための工場移転用地の提供
- 関西の経済を底上げを図るため戦略的な企業誘致

#### <施設整備の状況>

- 一部堆積用地の供用
- 耐震岸壁整備中
- 93.7%の埋立完了(平成19年度末)

#### <今後の方向性>

- 地域の課題解決・関西経済の活性化に向けた早期の土地活用の実現～
- 早期土地利用のための段階的整備(住工混在地域の解消に向けた市内の企業の移転用地、高度化、高付加価値化産業の用地)
- 「超付加価値創世産業」等の立地促進
- 管理型区画の土地利用の方向性の検討等

#### [活性化のシナリオ]

- 「より付加価値の高いものづくり産業」を目指し、○超付加価値創世産業(医療・福祉関連、環境・エネルギー関連、製造技術関連、微細加工技術関連など)の立地促進
- 「地域ものづくり産業(既存ものづくり産業関連)」の事業高度化の促進
- を図り、関連産業への波及、雇用の創出により地域経済の活性化を図る。

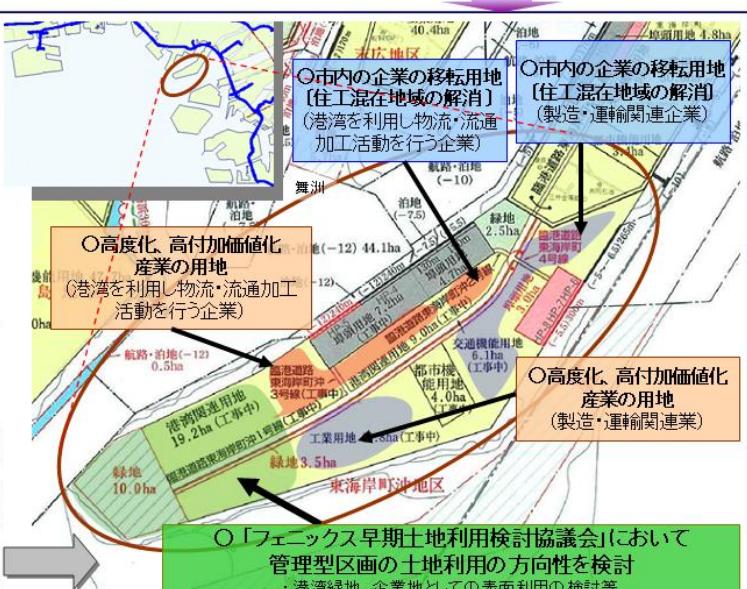
#### [段階的整備の方向]

- 耐震強化岸壁の完成(平成21年度末目標)に併せて、背後の港湾関連用地(15.5ha)を竣工
- 残る区域については、平成23年度末までの埋立竣工を目指す

#### <課題>

##### ～管理型区画の土地利用～

- 管理型廃棄物により埋め立てられた用地であり、利用にあたって、(他の用地とは異なり)制約的な側面を有する。



5